



副校長のつぶやき

令和5年7月20日発行 No.7

秋田大学教育文化学部附属中学校 副校長 石井 学

命を大切に作る夏休み、チャレンジする夏休み

□夏休みを迎えるにあたって

新年度を迎え約4か月が経過しました。1年生はこの附属中学校に入学し、新しい生活がスタートしました。数か月間の中学校生活ですが、様々な面で成長している姿を見ることができました。2年生、3年生は一つ学年が上がって、昨年度までと違う教室での学校生活が始まりました。学年が上がり、勉強が難しくなったり、係活動や生徒会活動、部活動など、やることが増えたりしたことでしょう。楽しいことばかりではなく、苦しいこと、辛いこと、逃げ出したいこともあったと思います。それらに立ち向かって、やるべきことに果敢に立ち向かうことができたのであれば、大いに自分自身を誉めてほしいと思います。自分では気付いていないかもしれませんが、きっと様々な面で成長しているはずです。

皆さんは新しい学年での生活をスタートさせるに当たり、いくつかの目標を立てたと思います。どれくらい達成できましたか。夏休みに入るこの節目の時期に、「頑張ったこと」や「継続できたこと」、「どんなところが成長できたか」、「もっと成長するために、どんなことを頑張ったらよいか」など、自分自身のことをぜひとも見つめ直してほしいと思います。

いよいよ、今週末から夏休みが始まります。33日間という長い休みに入ります。夏休み中に、どんなことを頑張るか決めていきますか？しっかりと計画を立てて、自分で決めたことをやり遂げてください。

私からは、皆さんにこの夏休み中、お願いしたいことを二つ伝えます。

一つ目は、「命を大切に作る夏休み」にしてほしいということです。私には、楽しみにしていることや、やってみたいことがたくさんあります。皆さんにもたくさんあると思います。でも、そのようなやりたいことができるのは、大切な「命」があるからです。自分の不注意で、あるいは約束を守らなかったために、かけがえのない「命」をなくすようなことがあってはいけません。

「水の事故」、「火の事故」、「交通事故」など、命に関わる危険が私たちの身近にはたくさんあります。秋田県内各地において甚大な被害をもたらした記録的な大雨、海や川、火事等で尊い命が失われたというニュースも報道されています。たった一つしかない「自分の命」はもちろん、「友達の命」、「周りの人たちの命」も大切に作る夏休みにしてください。

二つ目は、「チャレンジする夏休み」にしてほしいということです。普段の学校生活ではできないことも、夏休み中であれば時間をかけて取り組むことができます。自分のやりたいことを決めて、粘り強く取り組んでください。どんなことでもよいので、自分でやろうと思ったことは最後まで挑戦し続けてください。そして、やり遂げたときの達成感や充実感、逆にチャレンジしたけれどもうまくいかなかったときの悔しさを是非とも体験してほしいと思います。チャレンジしたことで得られた達成感、満足感、悔しさなどは、皆さんを少しずつ成長させてくれるはずですよ。

最後に、今の自分をもっともっと成長させたい人に次のことばを紹介します。

**心が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、運命が変わる**

これはアメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズの言葉で、今なお歴史に残る名言として、多くの人々の思考や人生に影響を与え続けています。心のもち方や気持ちは行動に現れる。その行動を繰り返すことで習慣となり、よい習慣を身に付けると自分の性格や人格、将来までも変えることができるという意味です。また、心のもち方や気持ちは変えない限り、人は変わることができないということを意味している言葉です。大きく成長する可能性を皆さんはもっています。心のもち方次第でいくらかでも変わることができます。

附中生382名が、事故や怪我なく、充実した夏休みを過ごすことを心から願っています。8月24日、一回り成長したみなさんと、再び笑顔で会えることを楽しみにしています。